

## 【報告事項】

## 2023年度 事業報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

### I. 公益目的事業

#### 公1 母乳育児の支援及び啓発、普及事業

---

##### 1. 母乳育児相談室における事業

###### (1)母乳育児相談事業

1)産婦・授乳婦とその家族を対象に、桶谷式乳房手技を中心とした母乳育児支援や保健指導、及び乳幼児の育児相談、離乳食指導、身体計測などを桶谷式乳房管理士が行い、母乳に対する妊産婦やその家族の不安を解消できるよう努めた。必要時、訪問にて保健指導と乳房ケアを行った。

2)相談室来院困難な、妊娠中・授乳中のお母さん向けに無料オンライン相談 54件

3)相談室は早稲田・二子玉川・南浦和の3カ所で運営

4)月曜日～土曜日 9:00～17:00(必要に応じ日曜も対応) 1名 30分枠 予約制

5)助産師稼働は8時間 常勤3名 パート4名(南浦和3名、早稲田1名)

6)助産師職員の「助産師賠償責任保険」3名加入、勤務助産師保険 3名加入

###### (2)桶谷式乳房管理法研修センター研修生(39期秋季生、40期生)の実習指導

###### (3)看護学生、助産師学生の実習受け入れ(早稲田、南浦和、二子玉川相談室)

- ・帝京大学助産専攻科(助産師学生)見学実習 15名
- ・東京医療保健大学大学院高度実践助産コース(助産師学生・助産師)見学研修 8名
- ・さいたま赤十字看護大学(看護学生)見学実習 20名
- ・一般社団法人ドゥーラ教育協議会见学実習 1名

###### (4)地域妊産婦への母子保健活動の提供

- ・「ニコワークス」サイトにおいてオンライン母乳育児講習会1回開催

7月27日参加者(妊産婦とその家族180組)

「おっぱいの仕組みを知ると母乳育児のコツがつかめる!知識編&実践編」

###### (5)地域子育てスペースでのパパママ向け「マタニティフェスティバル」見学参加

二子玉川職員2名のマルシェ参加

###### (6)一般市民を対象とし、母乳育児の理解を深めてもらうための活動

- ・新宿区喜久井町の「寺マルシェ」に研修生と共に参加、地域住民と交流
- ・オンラインサロンを4月～7月に4回開催

・「うらわ子育て支援センターおっぱい相談」にて、南浦和相談室職員 1 名が月 1 回、母乳育児相談を行った。

・グランモッコ子育てイベントに参加し、母乳相談・育児相談を行った。

(7)本会が発行する「育児通信」の配布等により、妊産婦への情報提供を行った。

## 2. セミナーの開催

(1)会員助産師、研修センター研修生、非会員助産師、その他医療従事者を対象

1)オンライン桶谷セミナー11月12日開催（教育企画委員・教育部担当）

桶谷式乳房管理士・研修センター研修生・会員外 21 名

リモートにより開催、リアルタイムの最高視聴者数 227 人

講演 1「生まれてから歩くまでの発達と暮らしの環境の整え方」

講師：森田綾先生(にじのわ ママと子どもの育ちラボ代表)

講演 2「呼吸・発音・嚥下の口腔機能の発達と母乳育児/長期授乳でのむし歯の予防」

講師：青葉達夫先生(青葉こどもと親の歯科医院院長 NPO 法人みやぎ母乳育児をすすめる会理事長)

2)IBLCE 継続教育単位発行申請、継続教育単位証明書作成

(2)一般助産師対象・桶谷式母乳育児の普及と広報（教育広報委員会）

日総研母乳育児セミナーの実施

・二部制(前編オンデマンド放映、後編研修センターで対面式)を計画し、

6月25日に前編オンデマンドの撮影、7月20日～9月4日放映 受講者 21 名。

後編は受講の申し込み者が 5 名と最小催行人数に達しなかったため、中止。

・開催中止となった後編について日総研担当者と相談し、2024 年 3 月 17 日に 1 回制の対面式として研修センターで開催。受講者 14 名。

・来年度は講師を変更してオンデマンド開催の予定、講師 3 名依頼

(3)医療従事者向け母乳育児セミナー

教育広報委員会主催で研修センターと協力、企画検討を行った。

## 3. 情報提供

(1)母乳育児冊子「育児通信」年 4 回発行(育児通信委員会)

1)各号の特集記事

171 号 赤ちゃんの頭の形 ～予防と治療が必要な病気～

172 号 授乳が不快に感じる時 ～不快性射乳反射 (D-MER) について～

173 号 おむつなし育児 ～おむつに頼りすぎないという選択～

174号 ちゃんと泣ける子に育てよう ～感情コントロールの育ちのために～

2)発行部数 各号 6500部

3)編集会議 4回開催

4)育児通信委員会マニュアルを随時追加・修正

5)既刊号の会員配布

(2)ホームページ (ホームページ委員会)

1)ホームページ更新

ア.ママサイトのお知らせの更新(随時)

イ.クローズアップ相談室の掲載相談室の選考・原稿依頼・編集・登録(3カ月ごとに2件投稿)

ウ.育児通信やさしいごはんの登録(3カ月ごとに4～5品)

エ. Q&A記事の登録更新(Q65掲載)

2)お問い合わせ対応

3)開業者 HP のパトロール(10月)

北海道・東北・北関東ブロック・新規開業者・前年度訂正をお願いした HP

4)管理システムでの HP 委員会のマニュアル作成

5)HP 委員会会議 5回

6)SNS 投稿 YouTube 離乳食レシピ更新

7)OPPA 相談室検索サイトの充実

(3)妊産婦への情報提供 (ブロック会、各相談室)

1)桶谷式母乳育児推進協会機関誌「育児通信」の無料配布

2)初診で来られた方へ「おっぱいルームアドバイス」の育児冊子・手技用タオルの無料配布

3)乳がんパンフレット(対がん協会作成)の無料配布および自己検診の推奨

4)地域における育児サークル、近隣小児科医院、子育て支援センター、産婦人科、乳腺外科医院、薬局、スポーツクラブ等に3相談室リーフレット配布

5)HOXON(乳幼児用品レンタル雑誌)、babyco(育児フリーペーパー)等、子育て雑誌等の母乳育児情報の提供

6)妊婦向けの母乳教室の開催と産後ケアの紹介

神奈川ブロック主催セミナー「おばせみ」回数 11件

(4)本会取り扱い商品(オリジナルクッション、哺乳びん、おんぶ紐等)の販売

#### 4.調査・研究

(1)学術的研究活動(学術研究委員会)

1)歴代の会員の研究をホームページ会員サイトにアップするため、現在、準備中。

2)前年度実施のコロナワクチン接種した授乳婦を対象に行った調査結果の原著論文が日本母乳哺育学会に受理された。

3)会議：Zoom 及びメール・電話などで意見交換を行った。

(2)業務実態調査（業務実態調査委員会）

1)アンケート調査の配信・集計・分析作業

Google フォームを使用して 2023 年 1 月アンケート調査実施

回収数 413 件(うち紙媒体 14 件) 回収後、集計作業実施

2)実集計調査フォームの送信

Google フォームを使用して 2024 年 1 月実集計調査を実施

回収数 197 件(うち紙媒体 8 件)回収後集計・分析作業

3)会議年 4 回開催

(3)倫理審査委員会

今年度は対象となる研究なし

(4)研究発表

長田千恵子氏・大平愛子氏・日本助産学会にて発表（2023 年 10 月）

「画像から観る桶谷式乳房管理法手技中の産褥乳房状態—手技経験年数の違いによる特徴に焦点をあてて—」

**5.国際協力（海外活動委員会）**

(1)JICA 草の根支援パートナー型プロジェクトの活動計画を立案し、実施した。

1)期間延長に伴う再契約書手続きを実施した。

2)今年度は 6 月、10 月、2 月にバングラデシュ渡航し、研修を行った。

3)プロジェクト活動に関して JICA ならびに渡航予定者と調整、検討した。

4)JICA における研修、打ち合わせ会議などに参加した。

(2)海外からの問い合わせなし

## **公 2 教育、育成のための事業**

---

### **1. 研修センターの運営**

(1)東京 40 期より、4 月・10 月開講の 2 期制とする。

東京 39 期秋季生（2022 年 10 月開講、2023 年 9 月修了） 5 名

東京 40 期生（2023 年 4 月開講、2024 年 3 月修了） 11 名

東京 41 期生（2023 年 10 月開講、2024 年 9 月修了） 7 名

## (2)教育計画

講義、研究、実習、実践活動は計画に沿って実施。

実践活動：「母乳育児写真展」「ヨガ+ランチ会」

「早稲田の風」年3回発行、図書管理、防災訓練

## (3)2023年度入学試験

東京41期生（2023年10月開講）（定員8名）7名受験し7名合格

東京42期生（2024年4月開講）（定員8名）7名受験し7名合格

## (4)研修センターについての広報活動

1)医学書院『助産雑誌』、メディカ出版『ペリネイタルケア』に広告

2)桶谷HPに研修生募集要項掲載

3)学校説明会開催(オンラインの集団説明会、対面個別見学会) 説明会参加延べ人数15名

4) 桶谷式乳房管理法研修センター紹介ビデオの更新

会長交代により新会長の「会長挨拶」ビデオ撮影し、ホームページ内更新を行った。

## (5)研修センター改革プロジェクトの立ち上げと活動

1)プロジェクトメンバー5名 活動期間 2023年10月から活動開始

2)会員に資料配布とブロック長理事合同会議で説明し、会員からの意見質問を募集した。

3)2024年度総会での報告準備

## 2.資格付与事業

(1)桶谷式乳房管理士 2023年9月5名、2024年3月10名に付与

(2)資格認定委員会：8月、2月末開催

## 3.教育の充実と技術向上のための研修事業

(1)桶谷式乳房管理士の質の維持と技術向上のための研修

1)ワークショップ

・2019年度からのテーマ「桶谷生き残り戦略」または自由

・担当ブロック 神奈川・近畿第2・九州

・ワークショップ発表は会員サイト掲載し閲覧

神奈川：「経営の要素と顧客が動くストーリーという二つの視点から考える」

近畿第2：「SWOT分析を学ぶ」

九州：「桶谷式を対象者に届けるためにできる事、桶谷式の理論とその実際について」

2)手技ステーション利用状況 93件

3)ブロック主催講習会の開催

- ・ブロック出張手技講習会：北海道・北関東・千葉・神奈川・東海・中四国
- ・ブロック内手技講習会：北海道・東北・北関東・千葉・東京東・東京中・東京西・近畿第1・中四国・九州
- ・ブロック主催講演会・勉強会

北関東：乳幼児安全法救命講習（子供の心肺蘇生とAED）

東京東：産後のメンタルヘルスとEPDSを活用した有効なフォロー

東京西：小児発達心理「このママ変？」その背景を考えてみる

神奈川：乳腺炎の対応や治療について

東海：事例検討会（死産後のパパのグリーフケア）（直母困難にてデンタルクリニック紹介）

中四国：赤ちゃんの発達理解 歪みのない成長サポートのためにできること

4)過年度本部手技講習会配信中（2024年度末まで）ブロック会で視聴：東北、北関東、千葉、東海

(2)桶谷式乳房管理士集会の開催

オンライン講演会動画配信

タイトル名：「助産師がみる乳房のトラブル」 講師：池上しか子氏

2023年6月19日(月)～1週間、録画したものをオンデマンド配信

(3)ベテラン認定者の手技撮影

ベテラン認定者の方が「桶谷先生の手技を守るためにどのように工夫されて現在に至っているのか」をテーマに、ベテラン認定者の話や手技をビデオに撮影(1名の認定者の撮影を実施)。会員サイトに掲載する件については次年度検討事項。

(4)卒後研修プロジェクト2030

1)ステーションを増設する(会議6回開催)

ア.手技ステーション指導者9名を11名に増員し「ステーション会議」立ち上げる。

イ.ステーション会議における検討事項

- ・各手技ステーションにおける研修状況把握
- ・将来手技ステーションに認定するための資格条件の策定

2)桶谷式について定義について検討(会議1回開催)

3)手技のラダーを作成のための内容検討(対面会議1回開催)

4)プロジェクト担当者会議の開催は9回オンラインで実施

(5)東京39期生の卒後1年間のサポート

- 1)総会や本部セミナー等推進協会の行事やブロック会への参加を促した。
- 2)勉強会(ワークショップ・手技講習会・講演会など)への参加を促した。
- 3)桶谷式理論・手技・仕事に関する相談及び指導をした。
- 4)東京 39 期生(春季生 2023 年 4 月 1 日、秋季生 2023 年 10 月 1 日認定)は、担当認定者がサポート。

#### 4.奨学金制度

貸与 1 名 39 期秋季生 返済中

#### 5.会員のための情報提供

(1)会報「折り鶴」2023 年 9 月第 44 号・2024 年 3 月第 45 号を発行

1)第 44 号から横書きに変更、新シリーズ「桶谷先生の教えを伝えたい！」をスタート

2)第 45 号から「会報 折り鶴」の文字を変更

特集記事「海外活動報告 バングラデシュ渡航 NEWS Part.1」掲載

(2)ホームページの会員サイトを利用して情報提供を行った。

(3)「桶谷メール」の配信

1)令和 6 年能登半島地震災害支援情報の本部から会員への情報発信(2024 年 1 月 2 日～3 月 20 日)

2)被災地域会員からの情報を会員配信、石川県助産師会支援の情報配信

3)災害発生時の安否確認 8 件

7 月秋田、九州、中四国 8 月九州、中四国 9 月千葉、東北、北関東

4)総会報告、理事会報告、ブロック長理事合同会議報告、ブロック会議事録の配信

(4)事業部通信(事業部担当)

年 4 回発行 発行部数 570 部

(5)安全管理対策情報の提供 助産所開業マニュアル・安全管理基準を案内し徹底する。

(6)日本助産師会および助産師賠償責任保険情報の提供及び加入推進。

(7)感染対策委員会による情報提供は今年度なし。

(8)災害マニュアルの整備と会員への周知

令和 6 年能登半島地震災害支援の経験から災害対策マニュアルの見直し、より実践的な災

害対策訓練を検討した。

## Ⅱ. 収益目的事業

### 収 1

---

#### 1. 母乳育児用品の開発・製造・販売及び書籍出版事業・発送業務

(1)公益社団法人桶谷式母乳育児推進協会推奨品の選定

株式会社ゼンヤクノー(タンポポコーヒー20P・30P) 株式会社ビーパン(カラダがよろこぶだし汁)を

推奨品として認定。

(2) 母乳育児用品の販売・紹介

授乳用クッションは7月で在庫完売。新規製作会社を選定し、試作中。

(3)書籍の出版

「おっぱいルームアドバイス」5,000部増刷。

(4)株式会社ジャパンプックオケタニ配送センター撤退に伴い、推進協会配送センターを早稲田ビル内に移転し、6月より業務開始。

#### 2. 母乳育児相談室の運営

協会直営の母乳育児相談室において、助産師業務及び本会商品販売を行った。3相談室全体の売り上げは前年度対比11%の減であった。

### 収 2

---

#### 1.産後ケア事業としてデイケア、アウトリーチ（訪問）を行う。

(1)デイケア型 64回

(2)アウトリーチ型 154回

(3)スタッフは中ブロックを中心に近隣の第一種会員と協会の職員で構成

(4)産後ケア事業の情報発信とPRは中野区HP、パンフレット、SNSで行った。

(5)中野区と業務委託契約を更新

(6)トラブル・事故報告なし



## その他の事業

---

### 1.助産院開業資金等の貸与(そとみ基金)

(1)開業資金貸与申請なし

(2)事業資金等の貸与申請なし

### 2. 表彰事業

(1)感謝状贈呈

75歳以上で認定歴15年以上を対象とし、今年度は6名表彰。

(2)村松志保子顕彰会の参加

1) 村松志保子顕彰会 村松志保子賞2名受賞。2024年度表彰会員2名推薦。

2)年会費5,000円の納入と毎年の寄付10,000円

### 3. 福利厚生、交流会の開催

(1)福利厚生

1)弔慰金1名に支給

2)災害等見舞金 対象者なし

(2)交流会の開催

2025年度総会と同日の懇親会開催計画を開始。桶谷式乳房管理法研鑽会発足45周年記念を兼ねる。

## 法人運営に関する事業

---

### 1.会議の開催

(1)理事会の開催（理事会9回、理事報告会1回、臨時理事会1回）

(2)2023年度定時社員総会開催 横浜市6月18日

(3)ブロック長理事合同会議 9月10日、3月10日開催

(4)運営人事委員会を毎月第3金曜日12回開催

(5)各ブロック会におけるブロック会会議の開催(各ブロック会年3回以上)

## 2.会員情報の把握・整理

### (1)第一種会員

1)会員名簿作成

2)乳房管理士台帳の管理（本部・副会長・総務部）

3)身分証明書 8名発行、会員証 24名発行 認定証 16名発行(うち再発行 1名)

4)緊急連絡先の管理

5)緊急災害メール登録の管理、テストメールを 10月 31日実施

6)会員の健康診断受診状況を把握し、健康診断の受診を促した。受診率 88%

7)単位取得について（70歳未満の正会員が単位提出）

2023年度単位表提出率は 86%。5年間で 25単位以上取得率は 73%であった。

8)退会者台帳作成と情報整理。本年度退会者 12名。

### (2)第二種会員・賛助会員

1)第二種会員入会なし。賛助会員、9団体、個人 2名

## 3.推進協会会計の管理

(1)2023年度ブロック会計マニュアルを改訂し、ブロック会計説明会を 2回実施。

(2)中間決算会計監査実施

## 4.資料・記録の整備と保管

(1)委嘱状 45通発行

(2)ブロック長・ブロック会計マニュアルの作成

(3)安全管理事例報告書および管理(ヒヤリハット)

(4)「お母さまからの声」報告および管理

(5)「認定者の声」報告及び管理

## 5. 広報活動（広報部）

(1)広報活動に関する問題、課題を洗い出すため、専門家より講義を受けた。

(2) LINE 公式アカウント・インスタグラムの活用。

(3) 広報媒体や手段について情報収集し、アンケート実施を計画した。内容について再検討中。

(4) マタニティ&ベビーフェスタ 2024（4月6日、7日開催）への参加準備。

(5) 育児通信バックナンバーの活用として配布先の開拓と、会員への無料配布。

(6) 「健やか21」への参加準備。

(7) 開業助産院向けのリーフレットのひな形の作成、会員への提供。

(8) 毎月1回の会議を開催。

## 6.理事関連

(1) 選挙管理委員2名選出

(2) 理事交代の登記変更

2023年6月30日に法務局に書類提出し、登記変更済み。

(2023年度総会議事録・2023年度第3回理事会議事録・理事就任承諾書・理事辞任届)

## 7.組織改革プロジェクト

2022年度メンバーから一部メンバーを変更し、2022年各部署・各委員会の改革検討内容を評価・報告し、組織改革プロジェクトを解散した。

## 8.オケタニ早稲田ビルの維持・管理

事務局を中心に、日常的にビル本体や付属設備等のメンテナンスに努めている。

## 9.桶谷戦略プロジェクト

(1) 2023年9月発足

(2) 協会運営の財政基盤を見直すため、運営状況把握

(3) 運営状況の問題点を抽出し、原因、解決策を立案

(4) 2024年度総会において会員に説明するため資料作成

## 10.令和 6 年能登半島地震災害支援

(1)被災者への手技料支援 19 名(1 月 10 日～3 月 6 日)

(2)日本赤十字社令和 6 年能登半島地震義援金として 10 万円寄付

(3)石川県助産師会へ 20 万円寄付及び支援物資の寄付 (タオル 10 ダース、哺乳器 60 本、乳首 60 個、フィーディングスプーン 40 セット)